



平成 30 年 5 月 14 日

各 位

会社名 株式会社オーバル
代表者 代表取締役社長 谷本 淳
(コード番号 7727 東証第一部)
問合せ先 経営企画室長 市村 隆博
電話 03-3360-5009

中期経営計画策定のお知らせ

当企業グループは、2015 年に策定いたしました中期経営計画「ADVANCE 2018」の戦略を引継ぎ、2019 年 3 月期を初年度とする 3 ヶ年の中期経営計画(2018 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日)

「ADVANCE 2.0-2021」を新たに策定いたしましたので、お知らせいたします。

詳細につきましては、添付資料をご参照下さい。

中期経営計画「ADVANCE 2.0 - 2021」

当企業グループは、流体計測に関わる全ての分野において、お客様の期待を超える“ファシリティ”を提供し、お客様から選ばれる“信頼と安心”のブランドとして、社会と共に成長し続ける企業を目指す事を目的とし、

“流体計測での GL-OVAL (Global Leading Company OVAL)”

をキーワードとした中期経営計画「ADVANCE 2018」を 2015 年に策定いたしました。当期につきましては、戦略を引継いだ第2フェーズ「ADVANCE 2.0-2021」を新たに策定し、収益の向上と安定的な成長が望める企業体質の構築を目指し、次の課題に取り組んでまいります。

本中期経営計画では、「新製品」「グローバル」「新規事業」の拡大戦略を掲げ、業績の向上による継続的成長を果たしてまいります。一方で「収益性向上」を経営基盤強化の基本方針とし、現在の厳しい経済環境下に左右されにくい強固な経営基盤を構築するため、効率的な組織の改編及び最適化にも取り組んでまいります。

(1)拡大戦略

① 新製品

- 主力製品となったコリオリ流量計の更なる高機能・高付加価値化
- 拡大が予想される超音波流量計市場でのシェア拡大

② グローバル

- 米国市場 :子会社 OVAL Corporation of America を拠点とするコリオリ流量計の拡販
- 中国市場 :子会社 HEFEI OVAL INSTRUMENT CO., LTD.(合肥)の体制再編による中国市場の再開拓
- 東南アジア市場:子会社 OVAL ASIA PACIFIC PTE. LTD.(シンガポール)による石油・ガス関連システムビジネス

③ 新規事業

- M&Aも視野に入れた新規事業参入
- 流量計を中核とした新たなサービスの提案

(2)経営基盤強化

① 収益性向上

- 製造経費削減
- 過重労働防止
- 研究開発の効率化
- 製品統廃合

戦略的経営運営により、各方針でPDCAが回る体制を強化してまいります。

また当企業グループでは、内部統制の強化とコンプライアンスの徹底により、企業としての社会的責任を果たしていく所存です。

【ADVANCE 2.0 - 2021 の経営指標】

連結	2021 年3月期
売上高	14,000 百万円
海外売上高	3,500 百万円
海外売上比率	25%
営業利益率	7%
ROE	4%

以上